

# 学校運営協議会だより

恵那西中学校  
学校運営協議会長  
令和3年2月24日

## 第4回学校運営協議会を行いました

令和3年2月17日（水）に、本年度第4回目の学校運営協議会を行いました。

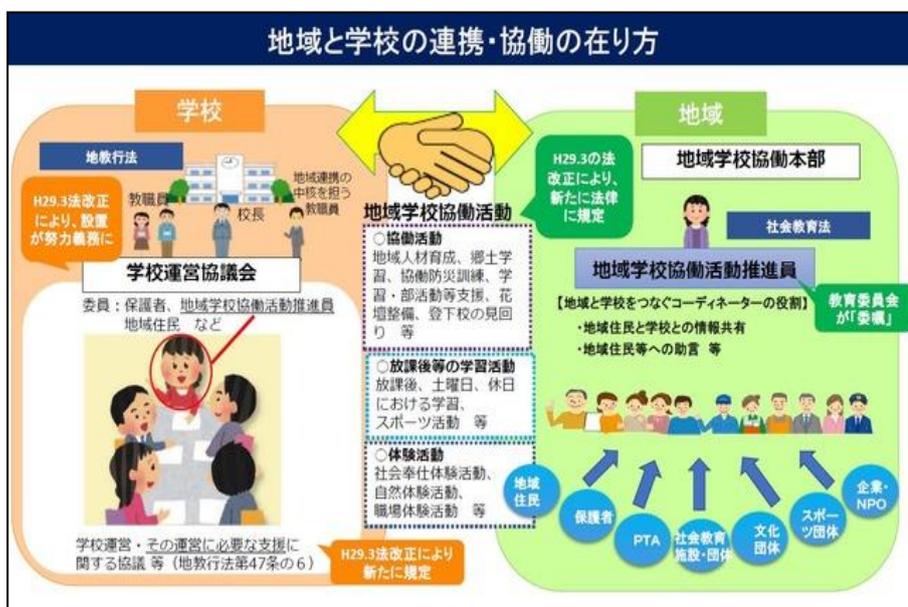
コミュニティスクール研修用DVD視聴（講師：志々田まなみ 国立教育政策研究所）

＜地域ぐるみで次世代育成に取り組まねばならない理由＞

- ・「消滅可能性都市」という言葉があるように、自分の地域の課題を理解し、改善に向けた意欲と知恵をもつ人を育てていける地域が、人口減少の時代に生き残ることができる。子ども達が、住み続けたい思えるようにする教育の役割は大きい。学校のいわゆる「ふるさと教育」だけでは十分ではなく、地域の豊富な人材等を活用していくことが効果的。
- ・新しい学習指導要領（令和2年度告示）では、「社会に開かれた教育課程の実現」とされている。社会のつながりの中で学ぶことで、身近な地域のヒト・モノ・コトを生かした学習、多様な価値、専門知識・技能をもった人と進める学習ができる。

＜地域学校協働活動について＞

- ・地域に「地域学校協働本部」を置き、学校とともに子どもの成長を支えられる地域づくりの活動を行っていくことが必要。学校だけでは実現不可能な実践的な学びを行うことができる場を作っていく。
- ・学校運営協議会と連携し、組織的・継続的に協働活動を実施できるようにしていく必要がある。



「学校運営協議会だより（令和2年7月3日号）」でお伝えしたように、「学校運営協議会」とは地域と学校が一体となって生徒を育成し、地域づくりを目指すための協議の場です。本年度、学校運営協議会は、学校行事に携わったり、防災訓練の講師を務めたり、生徒が地域でボランティア活動に参加できるように働きかけたりすることなどを行ってきました。この研修により、本年度の活動が、目標に向かった活動であったことを改めて確認することができました。

【図：文部科学省 HP より】

本年度、学校運営協議会の活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございました。本年度は、9名の委員で4回の会議を行いました。今後は各地域に地域学校協働本部が設置され活動がさらに充実していくことと思います。恵那西中学校区は、長島町・武並町・三郷町の3町からなっています。各地域の活動を大切にしつつ、恵那西中学校区一体となって、生徒を育てていく地域協働活動になることを期待しています。

恵那西中学校学校運営協議会長 和仁 誠